

南の島 夢市場

期間：平成 22 年 1 月 14 日～ 24 日
会場：北埠頭ターミナルビル2F



鹿児島県の離島を一挙に集めた初のイベント「南の島 ゆめ市場」が北埠頭ターミナルで2週間にわたり行われ、トカラ結プラザも参加いたしました。

十島村ブースでは「田芋」「島バナナ」が、店頭に出せば10分で売り切れるといった予想以上の大賑わい。商品が追いつかず次の入荷分も予約で埋まるという人気ぶりは、テレビや新聞でも報道された程でした。

一方、ブース前「南の島々の写真展」では、中之島の小学生や宝島の海、口之島の祭りの写真等が展示されており、多くの人々がその美しい風景に見入っていました。

売上トップ5

1	島バナナ	135kg
2	田芋	78kg
3	さかな醤油	81本
4	塩黒糖	67袋
5	トカラの塩・ハーブソルト	60袋

市町村フェア ふるさと市場

期間：平成 22 年 2 月と 3 月の 5 日間
会場：市町村自治会館 1F ロビー



県内14市町村の新鮮な海の幸、山の幸を日替わりで展示販売する「市町村フェアふるさと市場」にトカラ結プラザも出店いたしました。

人気の商品は旬の食材である「たんかん」「つわぶき」「島らっきょう」。いずれも香りが良いと大人気。青パイヤも「どうやって食べるの?」と興味を持つお客様が多かったので、販売方法次第では需要が高まる食材だと実感いたしました。また、今回初出品した新商品「田芋の水煮」も、トカラの伝統食材を手軽に調理できると好評でした。

売上トップ5

1	むぎつわ	76袋
2	黒糖塩味	48袋
3	タンカン	47袋
4	ハーブソルト (袋)	45袋
5	さかな醤油	42袋

ごあいさつ

21年度は皆既日食への対応、特産品づくり事業の展開、島の資源を宝にする「宝探し」活動、各種イベントで特産品の宣伝販売とNPOがトカラ地域貢献活動へ役割を果たす充実した年度であったと思っております。少ない職員スタッフの中で村の支援を受けての成果と感謝しております。22年度は各種事業導入でトカラに夢と希望を求めての活動をさらに展開します。住民・会員、村行政、関係者の支援協力をよろしくお願い申し上げます。

代表理事 日高重成・役員一同、スタッフ職員 有馬弘恵 福永倫子

ホームページ「トカラかわら版」 <http://www.tokara-yui.com/>

「トカラ結かわら版」発行：NPO 法人 トカラ・インターフェイス お問い合わせ先：TEL & FAX.099-223-0420
E-mail tokara@feel.ocn.ne.jp

トカラの「宝」発掘、宝探して島の再生を

～ ないものねだりから→あるもの探して島を元気に!～



宝島でのトカラ宝探し研究会

NPO 法人トカラ・インターフェイスは、トカラ列島の自然環境、伝統文化や歴史など島々の隠れた魅力を掘り起こす「郷土の資源・宝探し」に平成 21 年 7 月から取り組んでおります。再発見したトカラの魅力資源「宝」をまとめ、来年 3 月までに「トカラ列島物語・新辞典」として編さんする計画で、昨年 10 月に各島の代表が宝島に結集、鹿児島大学多島圏研究センターの長嶋教授を講師に具体的取り組みについて勉強会を行い、現在島の魅力発掘・探検メンバーが作業を進めております。

島々の「宝」を活字にして残し、次世代に伝えると共に、新たな「島興し教科書」として活用するため、各島の魅力資源を島の再生に活かす知恵の提案もする内容で島の人材育成と併せてすすめています。

また、トカラの島々の魅力や地域資源をポストカード

にして全国に向けてアピールすることにしております。

各島で自然環境や食、産業、昔の暮らし、方言、伝統行事・伝説、集落の盛衰などを調査。高齢者から聞き取りも行い、この 3 月に分野別に整理します。

こうした島の全体の地域資源を《自然博物館》に見立て、体験型観光交流に活かすとか、島民や子供たちの郷土学習「郷土検定テキスト」に活用を図るようしております。今後のトカラ興しは、ないものねだりと決別し、島の地域が育んだ自然環境や伝統文化に根ざした発展のシナリオをどう探し、島の再生につなげていくかが、人材育成とあわせて重要なテーマになります。



アメリカ占領地として分断された北緯30度線の碑(口之島)

トカラ産物を魅力商品づくりで売り出そう

～特産品づくり、リーダー研修でトカラ産物の商品化をすすめる～



上段左上より「うす塩とびうお天日干し」「早香みかん酢」「田芋水煮」「大名たけのこ水煮」「つわぶき水煮」

トカラには田芋、大名たけのこをはじめ、トカラ独特の伝統産物が多くあるが、現在商品の販売力が弱く貴重な資源が眠ったままの状態にあります。

そこでこれらの産物に付加価値をつけ、「商品」として島外に向けて販売するために、昨年11月に県農産物加工研究指導センターにて「トカラ特産品づくり研修会」を開催しました。



NPO・役場共催により開催された本研修では、県農産加工研究指導センターの鮫島主任研究員の指導

のもと、各島からリーダー10名が島より材料を持ち込み、大名たけのこ、田芋、つわぶき、早香みかん、トビ魚等の商品づくりの加工技術を体験・研修しました。真空パッケージにして商品化された新商品は次のとおりです。

- トカラ田芋水煮（発売中）
- トカラ大名たけのこ
- トカラつわぶき水煮
- 夜光貝（味噌・しょうゆ）
- うす塩とびうお天日干し
- 早香みかん酢

これは県の特産品ふるさと興し事業を村からの委託を受けて実施しているものです。3月に初出荷された「トカラ田芋水煮」はおかげ様で完売いたしました。これでトカラの伝統産物の商品づくりが一段と進んでいくと期待しております

この商品づくりの各島での取り組みに1人でも多くの方が参加していただき、島の産業おこしにつなげて行くように願っております。

インターネットショップ【トカラ旬鮮市】オープン!

～トカラ結プラザ・インターネットを通して全国へトカラ産物の情報発信～



トカラ列島の特産品をインターネット上で販売するアンテナショップ「トカラ旬鮮市」がついに2月中旬にオープン! その名も「トカラ旬鮮市」。トカラ列島の旬の天然食材を中心に、人気の天然塩や加工品などを、全国の皆さんがインターネットで手軽に購入できるようになりました。季節によって変わるトカラの旬の食材を随時更新して販売していく予定です。

この事業はトカラの特産品の販路を広げ、より多くの人々にトカラの魅力の特産品を購入していただくためにふるさと雇用再生基金を活用し、村からの委託を受けて実施しております。

トカラ旬鮮市では、商品をただ販売するのではなく、商品を安心して購入していただくため、そしてトカラの島々に興味を持って購入していただくために「どのような人」が、「どのようなところ」で、「どのような思い」で生産されているのかをブログ（インターネット上の日記みたいなもの）を利用して紹介しています。今後生産者であるみなさまにいろいろお話をお聞かせ頂いたり、アドバイスを受けながら、良いホームページにしていきたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくお願い致します。

トカラ旬鮮市ホームページアドレス <http://tokara-takara.com/>

トピックス③

「トカラのタカラ トカラ結ネット」が商標登録されました

～トカラ発ミライ行き。いのちをつなぐ、おくりもの～

トカラの特産品をブランド化して全国に発信するために「トカラのタカラ」というシンボルマークの商標登録を申請していましたが、この度特許庁から認可を得ることができました。

このシンボルマークは、あるがままの自然・大地の恵みのもとで育ったトカラの生命力を、食を通して全国の皆さまに感じて頂きたい、という願いを込めて作成いたしました。デザインは、十島村のシンボルマークを中心に、青から緑へのグラデュエーションで縁取り「海の幸」「山の幸」を表現しております。

このマークをシールにして各商品に貼り付け流通させ、トカラの特産品をより多くのお客様に知って頂き、トカラの商品の信頼性とブランドイメージを高めるための視覚的なアピールツールとして有効活用していこうと思っております。

